

30年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉ポートアリーナ
条例上の設置目的	スポーツの振興及び文化の向上を図るため。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	トップスポーツのホームゲーム開催や競技スポーツの国際大会・全国大会の開催や、市民総体等の市民レベルの大会の開催の他、障害者スポーツ施策の展開における拠点等、市スポーツ施策の中心的役割を果たす。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	市スポーツ施策と一体となり、東京オリンピック・パラリンピックに向けた事前キャンプ受入れや障害者スポーツ大会の受入れ、更には市内他施設において需要の吸収が困難な市民レベルの大会等の受入れを中心に行う。
制度導入により見込まれる効果	本施設は、国際的・全国的なトップスポーツのイベントや各種文化イベントの開催が可能な高水準の設備を備えた集客施設であるが、今後、東京オリンピック・パラリンピックに向けた日本代表チームの事前練習会場及び強化拠点施設として想定されていることや、障害者スポーツ施策の更なる推進や他施設では吸収が困難な市民総体等の市民レベルの大会の優先的な受入れといった、市スポーツ施策の展開により、施設の効用を發揮することが大幅に制限されることで、収益性が低下することが予想される。 そのような状況下で、本施設の提供する市民サービスを低下させることなく、安定的、継続的な運営を行うとともに、市スポーツ施策と一体となった柔軟かつ弾力的な管理運営を期待する。
成果指標※	① 施設利用者数 ② スポーツ教室開催数
数値目標※	① 250,000人/年 以上 ② 20教室/年 以上
所管課	市民局生活文化スポーツ部スポーツ振興課

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	公益財団法人 千葉市スポーツ振興財団 ※平成31年4月1日から千葉市体育協会との事業統合に伴い、名称が「公益財団法人 千葉市スポーツ協会」に変更となっている。
構成団体 (共同事業者の場合)	
主たる事業所の所在地 (代表団体)	千葉市中央区問屋町1番20号
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年)
選定方法	非公募
非公募理由	千葉ポートアリーナについては、東京オリンピック・パラリンピックに向けた日本代表チームの事前練習会場及び強化拠点施設として想定されていることや、障害者スポーツ施策の更なる展開により施設利用が大幅に制限され、民間事業者の創意工夫による効用の發揮、収益拡大は見込めない。 現在の指定管理者である千葉市スポーツ振興財団は、収益を目的としない公益財団法人であり、市の施策実現のために設立された外郭団体であることから、市と一体となった効果的・効率的な施策の実施や、柔軟かつ弾力的な対応が可能となるため、非公募で選定する。
管理運営費の財源	指定管理料及び利用料金収入

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	30年度実績	達成率※
施設利用者数	260,000(250,000)	319,113	122.7%(127.6%)
スポーツ教室開催数	25(20)	25	100.0%(125.0%)

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

(2) その他利用状況を示す指標

指標	○年度実績

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目	30年度	【参考】 29年度	計画実績差異・要因分析			
			差異	主な要因		
指定管理料	実績	179,527	172,326	実績－計画	△ 8,496	光熱水費単価値下がりによる指定管理料の戻入 提案時、消費税10%で計算
	計画	188,023	189,495	計画－提案	△ 4,196	
	提案	192,219	195,056			
利用料金収入	実績	106,783	92,117	実績－計画	22,687	メインアリーナの利用者増加
	計画	84,096	83,959	計画－提案	0	
	提案	84,096	83,959			
その他収入	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
合計	実績	286,310	264,443	実績－計画	14,191	
	計画	272,119	273,454	計画－提案	△ 4,196	
	提案	276,315	279,015			

イ 支出

(単位：千円)

費目	30年度	【参考】 29年度	計画実績差異・要因分析			
			差異	主な要因		
人件費	実績	60,886	64,201	実績－計画	△ 5,881	退職金の規定の改定による 提案時、消費税10%で計算
	計画	66,767	65,621	計画－提案	△ 568	
	提案	67,335	67,484			
事務費	実績	78,048	75,077	実績－計画	△ 11,604	光熱水費単価値下がりによる 提案時、消費税10%で計算
	計画	89,652	89,652	計画－提案	△ 1,637	
	提案	91,289	91,289			
管理費	実績	119,296	114,683	実績－計画	3,596	経年劣化等による修繕のため 提案時、消費税10%で計算
	計画	115,700	118,181	計画－提案	△ 1,971	
	提案	117,671	120,242			
委託費	実績			実績－計画	0	
	計画			計画－提案	0	
	提案					
その他事業費	実績			実績－計画	0	
	計画			計画－提案	0	
	提案					
間接費	実績			実績－計画	0	
	計画			計画－提案	0	
	提案					
合計	実績	258,230	253,961	実績－計画	△ 13,889	
	計画	272,119	273,454	計画－提案	△ 4,176	
	提案	276,295	279,015			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

間接費の配賦基準・算定根拠

--

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目		30年度	【参考】 29年度
自主事業収入	実績	4,644	5,017
その他収入	実績	0	0
合計	実績	4,644	5,017

イ 支出

(単位：千円)

費目		30年度	【参考】 29年度
人件費	実績	394	388
事務費	実績	344	378
管理費	実績		
委託費	実績	67	67
使用料	実績		
事業費	実績	2,919	2,943
利用料金	実績	1,275	1,302
その他事業費	実績		
間接費	実績		
合計	実績	4,999	5,078

間接費の配賦基準・算定根拠

--

(3) 収支状況

(単位：千円)

		30年度	【参考】29年度
必須業務	収入合計	286,310	264,443
	支出合計	258,230	253,961
	収支	28,080	10,482
自主事業	収入合計	4,644	5,017
	支出合計	4,999	5,078
	収支	△ 355	△ 61
総収入		290,954	269,460
総支出		263,229	259,039
収支		27,725	10,421
利益の還元額		0	0
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績 (成果指標の目標達成状況)

評価項目	市の評価	特記事項
施設利用者数	A	市設定目標の127.6%
スポーツ教室開催数	A	市設定目標の125.0%

【評価の内容】 ※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
 A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。)
 B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。)
 C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
 D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
 E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	高熱水費単価の値下がりによる高熱水費の減少を除けば3.6%減少。

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A：選定時の提案額から10%以上の削減
- B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
- C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
- (D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
- ：対象外（市の指定管理料支出がない。）

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	C	
市民の平等利用の確保			
関係法令等の遵守 リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力			
(1) 人的組織体制の充実	B	B	施設職員全員の上級救命講習を受講終了 初級障がい者スポーツ指導員の資格取得
管理運営の執行体制			
必要な専門職員の配置 従業員の能力向上			
(2) 施設の維持管理業務	B	B	利用者から要望が強かった卓球台の天板を 修繕し、備品の貸出環境を整えた。
施設の保守管理 設備・備品の管理・清掃・警備等			
3 施設の効用の発揮			
(1) 幅広い施設利用の確保	B	B	誘致活動により、2年ぶりの大相撲千葉場 所開催が実現。
開館時間・休館日			
利用料金設定・減免 利用促進の方策			
(2) 利用者サービスの充実	C	C	
利用者への支援 利用者意見聴取・自己モニタリング			
(3) 施設における事業の実施	B	B	パラリンピックに向けた機運醸成のための パラスポーツ用具の設置や積極的な貸出等 の実施。
施設の事業の効果的な実施 自主事業の効果的な実施			
4 その他			
市内業者の育成	C	C	
市内雇用への配慮			
障害者雇用の確保			
施設職員の雇用の安定化への配慮			

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
- D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
- E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 市民局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
施設利用者数の増加に引き続き努められたい。	H29年度	誘致活動により、「平成30年度秋巡業大相撲千葉場所」の開催実現や新規開校予定の学校法人からの利用相談等もあったことから、新規利用者獲得に向けた積極的な対応に努めた。

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	施設利用者に対し、アンケート用紙を配布
	回答者数	1回目：150件、2回目：141件
	質問項目	1回目：性別、年齢、居住地、交通手段、利用頻度、利用目的、スタッフの対応等 2回目：性別、年齢、居住地、交通手段、利用頻度、利用目的、スタッフの対応等
結果		<p>1回目（平成30年11月26日（月）～平成30年12月28日（金））</p> <p>○回答者の属性</p> <p>【性別】 男性：78%、女性22%</p> <p>【年齢】 10代 15%、20代 21%、30代 16%、40代 19%、50代 9%、60代以上 19%</p> <p>【居住地】 千葉市内 85% 千葉市外 15%</p> <p>【交通手段】 徒歩 31%、自転車 21%、オートバイ 5%、自動車 30%、バス 1%、電車 11%</p> <p>【利用頻度】 はじめて3%、月に3～4回5%、月に1～2回12%、週に1～2回45%、週に3～4回27%、週に5回以上9%</p> <p>【利用目的】 健康維持のため 46%、ダイエット 8%、リハビリ 2%、競技力・体力向上 44%</p> <p>○施設の満足度</p> <p>【スタッフの対応】 非常に良い42%、まあまあ良い34%、普通23%、やや悪い1%、非常に悪い0%</p> <p>【施設の清潔感】 非常にきれい25%、まあまあきれい37%、普通33%、やや汚い4% 大変汚い1%</p> <p>【受付方法の満足度】 非常に良い36%、まあまあ良い32%、普通27%、やや悪い4%、非常に悪い0%</p> <p>【設備（トレーニング機器）の満足度】 とても良い16%、まあ良い22%、普通30%、やや悪い29%、非常に悪い3%</p>
		<p>2回目（平成31年3月1日（金）～平成31年3月28日（木））</p> <p>○回答者の属性</p> <p>【性別】 男性 50%、女性50%</p> <p>【年齢】 10代 38%、20代 24%、30代 15%、40代 15%、50代 4%、60代以上 4%</p> <p>【居住地】 千葉市内 64% 千葉市外 36%</p> <p>【交通手段】 徒歩 6%、自転車 11%、オートバイ 1%、自動車 43%、バス 2%、電車 36%、</p> <p>【利用頻度】 はじめて14%、年に1回7%、6か月に1回4%、3か月に1回14%、月に1回19%、2週に1回21%、1週に1回13%、週に2回以上9%</p> <p>【利用目的】 競技力の向上（練習）7% 体育授業・学校行事への参加4% 大会への参加4% 会社の親睦イベントへの参加 4%</p> <p>○施設の満足度</p> <p>【スタッフの対応】 非常に良い45%、まあまあ良い25%、普通28%、やや悪い1%、非常に悪い0%</p> <p>【施設の清潔感】 非常にきれい39%、まあまあ良い33%、普通24%、やや汚い4%、大変汚い0%</p> <p>【施設全体の満足度】 非常に高い40%、まあまあ高い35%、普通24%、やや低い0%、非常に低い0%</p> <p>【更衣室・シャワー室の満足度について】 非常に良い27% まあまあ良い25% 普通46% やや悪い1% 非常に悪い1%</p>

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
トレーニング室（2）を利用しているが、利用人数が多いため室温が高くなってきているので、空調の温度を下げることは可能か。	部屋毎に室温の個別設定が出来ない旨説明し、トレーニング室方面のエリア全体の空調温度設定を24℃から23℃に下げ対応した。
公衆電話はあるか。	館内には設置されていないことを伝え、一番近い公衆電話の場所を案内した。
台風接近に伴い、予約をキャンセルするが、利用前日のキャンセルなので、施設側に迷惑を掛けるため、料金を支払いたいが後日でも可能か。	台風接近に伴い、公共交通機関等への影響により来館が困難と判断し、やむを得ない事情として、予約取り消しを受け、料金は徴収しない対応をした。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括 評価	B	所見	<p>昨年度に引き続き、本年度もナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点の指定を受け、パラスポーツ（車いすバスケットボール）での施設優先確保（年間51日）を実施した。また、地域貢献活動として市内の小学生を招いて、同男子日本代表チームとの交流会の開催に協力した。</p> <p>また市民に対し「見るスポーツ」として大相撲千葉場所を誘致し、普段ではなかなか見ることのできない迫力の取り組みを間近で観戦する機会を提供、さらに、ジェフ千葉ファン感謝デー、Bリーグ千葉ジェッツ公式戦などプロスポーツ選手や質の高いプレーを見ていただく機会を提供するとともに運営に協力した。</p>
----------	---	----	--

(2) 市による評価

総括 評価	A	所見	<p>施設利用者数について、成果指標に係る数値目標の達成状況は、昨年度を大きく上回る122.7%であり、大きく成果をあげていることが認められる。</p> <p>その他管理運営等については、管理運営基準等に則した適切かつ安定した管理運営に加え、パラスポーツの普及活動など千葉市の施策に則しており、優れた管理運営基準が行われたと認められる。</p>
----------	---	----	--

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 市民局指定管理者選定評価委員会の意見

<p>(1) 市の作成した年度評価案の妥当性について 市の作成した年度評価案の内容は、妥当であると判断される。</p> <p>(2) 管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善を要する点等について ア アンケート配布方法を工夫する等、回収数を増加させるとともに、利用者からの意見を踏まえた対応に努められたい。</p> <p>イ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会終了後においても、利用者数、集客数を維持できるよう努められたい。</p> <p>ウ 障害者スポーツへの対応等、引き続き市の施策へ協力されたい。</p> <p>エ 自主事業の収支改善を図るとともに、利益の還元にも努められたい。</p> <p>オ 指定管理者の財務状況については、提出された計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、利益も出ており、財務状況は良好であることから、倒産・撤退のリスクはないと判断される。</p>
